

「会津美里町地域創生・人口減少対策有識者会議」による令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の検証について

有識者

開催日 令和3年6月29日(火)

No.	氏名	所属及び役職	分野	備考
1	布施 慶久	会津美里町商工会 主幹経営指導員	産業	
2	鈴木 智	会津よつば農業協同組合 営農経済センター長	産業	
3	石光 真	公立大学法人会津大学短期大学部長	教育	座長
4	阿部 学	福島県立大沼高等学校長	教育	
5	佐藤 秀樹	福島県会津地方振興局 県民環境部副部長	官公庁	
6	宗形 保資	東邦銀行 高田支店長	金融	
7	柏倉 誠	会津信用金庫 高田支店長	金融	欠席
8	三本杉優人	福島民報社 会津美里支局長	報道	
9	塚原 徳美	社会福祉法人千桜会特別養護老人ホームにいつるホーム施設長	医療・介護・福祉	
10	鈴木 雪子	八木沢菜の花会 代表	地域づくり	
11	長谷川祥子	一般社団法人TORCH 代表理事	移住・定住支援	

効果検証結果

「概ね有効であった」

有識者からの意見

- いろいろな事業をやっていて評価できる。
- 学生エール事業は、子どものいる親として、また大学に勤務するものとして、大学生を見ていると、本当に生活が助かっており評価できる。
- 本町のコロナ対策事業は、他町村よりもかなり早く立ち上げており、また他町村では出来ないような手厚い事業が多かったのですばらしい。動きが良かったと実感している。
- 商工業者の支援については、疲弊した状況の中で、また役場職員や商工会職員も昼夜問わず忙しい中、素早く数多くの施策を実施してもらって良かった。また、厚い手当てをしていただいて助かったという声が聞こえたため、成果は大きかったと感じた。
- 体感として、特に学生エール事業などの具体的な事業を実施しており、美里町は進んでいると感じた。
- 地域経済維持のための事業を実施していることは知っていたが、その他、多岐にわたる事業を地方創生臨時交付金を活用していたことは知らなかったので大変参考になった。特に企業の立場から言うと「ものづくりエール事業給付金」は、製造業に特化しており、県内においても一番の取組であったと思うし大変役に立ったと思われる。銀行の融資も応募の要件の1つに入っていたので、銀行の融資も伸びたというのものもある。その反面、保証協会の利子補給に関して言えば、国で実施しているコロナ資金があり、ほぼこれに該当したので町独自の振興資金の取り扱いは、少なかった。しかし、国のコロナ資金が3月で終了したので、これからは町の振興資金を中心に継続していただき、製造業以外の疲弊している業界への給付・助成も検討してほしい。
- 観光応援事業のスタンプラリー事業も遊びたい人にとってはうれしい事業であり喜ばれる事業である。